

学校関係者評価報告書（令和1年度）

令和1年度の学校関係者評価委員会を開催し、自己評価結果及び発表内容をもとに、学校関係者による評価を以下のとおり実施した。

評価実施日：令和1年9月10日（火）

学校関係者評価委員：企業委員2名，卒業生委員2名，地域住民委員1名（計5名）

評価コメント：

評価	評価に係る提言・改善等
<p>(1)教育理念・目標</p> <p>教育理念・育成人材像はしっかり定められており、引き続き推進していくことを期待する。</p> <p>IPA が提供する iCD を活用したカリキュラムで「iCD Gold ★」への認証格上げは高く評価できる。</p>	<p>企業が求める人材像も，入学生のニーズも，時代とともに変化している。最近は県内ユーザからも IoT や AI が話題に上がるので，学生時代に「IoT～ビッグデータ～AI」を理解しておくことはとても重要である。</p> <p>今後も，その時代の変化・ニーズに対応したカリキュラムの見直しを実践していく。</p>
<p>(2)学校運営</p> <p>全体的によく取り組んでおり，問題はない。</p>	<p>各部門がデータを個々に管理するのではなく，業務の効率化を図るためにも，教務・広報・事務でデータを共有するデータベースの構築を推進していく必要がある。</p>
<p>(3)教育活動</p> <p>カリキュラム検討委員会の「時代に沿った人材育成カリキュラム」の検討は評価できる。</p> <p>学生の評価も踏まえ，教育効果を更に高めてほしい。</p>	<p>学生のコミュニケーション力を高めるための工夫として，グループディスカッションやアクティブ・ラーニングなどを取り入れ，改善に努めている。</p> <p>今以上に産学連携授業を拡大強化することで，実践的 IT 教育の充実に努めていく。</p> <p>講師の更なるスキル向上を図りつつ，今後も新技術や業界ニーズ，セキュリティ，AI 関連に注力したカリキュラムの構築に努めていく。</p>
<p>(4)学修成果</p> <p>就職実績，資格取得実績，学生の満足度向上策については評価できる。更なる高みを目指してほしい。</p>	<p>資格取得実績に裏付けされた「技術者教育」で常に県内一番手校であり続けていく。</p>
<p>(5)学生支援</p> <p>経済的支援を含めて，十分な学生支援が行われ</p>	<p>就職後のミスマッチが起きないように，キャリア</p>

<p>ていると評価できるが、卒業生の活動・評価も必要ではないか。</p>	<p>教育の充実はとても重要である。 卒業生の状況把握や、就職先企業の情報収集・評価が十分に機能しているとはいえないので、毎年実施している学園祭や4年毎に開催するようになった同窓会で、卒業生の情報を収集・蓄積し評価していくよう努める。 卒業生に対するアンケート収集(学校で学んだことは今の仕事に役立っているかなど)を検討していく。</p>
<p>(6) 教育環境 教育環境は十分整備されていると評価できる。</p>	
<p>(7) 学生の受入れ募集 きちんと取り組んでおり、特に問題はない。</p>	<p>進学希望者に 49 年の伝統と資格取得にも就職にも強い本校の魅力を最大限に伝えて、安定した入学者数の確保に努め、他の追随を許さない県内一番手校を維持し続けていく。</p>
<p>(8) 財務 健全な財務状態が維持されており、特に問題はない。</p>	
<p>(9) 法令等の遵守 きちんと取り組んでおり、特に問題はない。</p>	<p>今後も企業倫理に裏打ちされた Quality First で誠心誠意、お客様へのサービス提供を実践していく。</p>
<p>(10) 社会貢献・地域貢献 きちんと取り組んでおり、特に問題はない。</p>	<p>高校の新学習指導要領の「総合的な探求の時間」（総合探求）では、様々な分野で高専連携や産学連携がこれまで以上に予想されるので、「情報」分野でしっかり支援していく。 今後も教育関係者への情報教育を継続させ、近隣の小・中学校と情報教育で連携していきたい。</p>

以上